**第１１回観察会　2004年２月26日(木) 12:10～12:50　晴れ**

**『二月の植物園―冬眠中の虫たち―』**

冬には小さな生き物たちが姿をみせなくなります。みんなどこに行ったのでしょうか。ガイドさんに教えていただきました。
場所は木の皮の下、朽ち木の中、土の中、電気のメーター箱の中などと多彩です。それぞれ居心地の良い場所を選んでじっと寒い季節をやりすごすのでしょう。

今回会えた冬眠中の生き物たちです。：ニホンヤモリ、オオクロナガオサムシ、クチキムシ、チビクワガタ、エサキモンキツノカメムシ、ヨコヅナサシガメ、ツヤアオカメムシ、コバネナガカメムシ、キイロスズメバチ、ツマグロオオヨコバイ、オオズアリ、コカマキリの卵、イラガの繭、ハサミムシの一種その他

ガイド：大橋和典さん（京都大学農学研究科）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がない方はすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 虫が大好きなので非常に楽しかったです。図鑑でしか見れないと思っていた虫が、こんな身近にいると知ったのは私にとって大きなことです。一番感慨深いと思ったのは、スズメバチの女王がたくさんの命をもってひとり冬にたえているということでしょうか。（それぞれの虫にドラマがあるとは思いますが）植物園の貴重さもさることながら、植物園を壊せばいまここにいるたくさんの生き物の命が失われてしまうことになると思います。そういう行為を平気でする人間は許せないと思います。　　　　　　　　　　　　　　　　（初めての参加したかた）
* 短い時間でピンポイントにいろいろなことを教えてもらえて、楽しいしためになりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学部生のかた）
* とても勉強になり楽しかったです。ぜひ土曜日や日曜日にあれば子供達も参加できるのでよいと思います。　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* スズメバチの女王蜂を見せていただきちょっとびっくりしました。オスは精子の形で越冬してるっていう言葉に生命のバトンタッチの哀愁を聴きました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 昆虫シリーズとして続けてください。キイロスズメバチの越冬ははじめて見ました。ヨコズナサシガメの堂々とした歩み。　　　　　（地球研のかた）
* 初めて参加させて頂き、虫に興味を持つきっかけになりそうです。（近所のかた）
* 越冬の虫に関心を持つことが出来て有意義でした。楽しいでした。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 冬の虫の越冬状態がわかってよかった。　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 冬の虫の越冬がよく分かりました。　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 見たことのない虫を見ることができてとても楽しかったです。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研のかた）
* たいへんおもしろかったです。植物園の存在ってしらなかった。リラックスできました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研のかた）
* 久しぶりの参加で楽しかったです。　　　　　　　　　　　　　（農学部職員のかた）
* こういう機会があってよかったです。　　　　　　　　　　　　（農学部職員のかた）